

# 税理士の ひとりごと

No. 146

翔平に会いに

税理士 齋藤明

2023年のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が衝撃的すぎたのではないでしょうか。あれを観て「野球ファンになってしまった」という人は私も何人も知っています。ご多分に洩れず、私の妻も。

元々妻は、長男が高校球児で野球にドップリだった頃には、父兄として熱心にサポート役をしていましたが、特段に野球に興味があった訳ではありません。「タッチアップって何？」と聞く程度の野球の知識しか持たない、ただの球児のお母さんだったのです。

それがいつの間にか、週末になるとアメリカ本土のMLBの試合開始時間に合わせて起床して、熱心にドジャースの試合をTV観戦するほどの野球ファンになっておりました。それもこれも、あのWBCで大谷翔平に魅了されたしまったから。事実、テレビをつければ、唯一無二の生きる伝説、現代のベーブ・ルース、奇跡を具現化したユ

ニコーンと、大谷を讚える言葉が耳に入ってきますが、それが大げさな誇張でもなんでもなく本当に大谷はそれ以上の「ホンモノ」なのだから、驚くより他ありません。

ある日、「そんなに大谷が好きなら、いつそロサンゼルスまでナマ大谷を見に行こうか？」と妻を誘ってみました。この「是非行きたい」と言うので、早速MLBのアプリをダウンロードしてチケットを探してみたところ、驚くほどあっさりサンディエゴのパトコパークでのパドレス戦と、ロサンゼルスドジャーススタジアムでのレッズ戦のチケットが取得でき、「さて次はエアチケットだね」というタイミングで事態が一転、妻が行けなくなっていました。というのも、妻の勤務先の同僚に痛が見つかり、妻は有給休暇を取得するどころではなくなってしまったのです。「私の代わりに誰か誘って行ってきて」と言うので、税理士会の野球部の後輩

